

メキシコでの研修も残り一カ月に迫っています。6月の下旬で私たちが通う語学学校 **CEPE** も終わりを迎え、残りひと月自由に過ごせる時間が与えられます。私は最終論文に追われながら目まぐるしい毎日を過ごし、論文の提出を終え、開放感でいっぱいになっていました。なんだかんだで **CEPE** ではかなり苦勞したので思い返すと自分よく頑張ったなあとしみじみしてしまいます。

さて、いろいろなことが終わっていく季節、苦手なお別れの季節ではありますが、今回のレポートでは **CONACYT** での最終報告会と個人的に申し込んで入った別の語学学校について書いていきたいと思います。

CONACYT 最終報告会

語学学校の研修が終わり、私たちに奨学金を提供してくれているメキシコ政府の機関である **CONACYT** が研修生全員を集めて最後の報告会を開き、私たちは修了証書を受け取りました。最初に4つのグループに分かれ、**CONACYT** に対する意見や自分たちの研修についての体験談などを共有しあい、発表するという流れでした。到着して間もない頃に同じ場所で全員が集合し、まだスペイン語がほとんど話せない人も何人かいたのにもかかわらず「では、簡単な自己紹介をできればスペイン語で！」と急に振られ、多くの人が大慌てしたこともありましたが、最終報告会では全員がスペイン語で自分たちの体験談や意見などを堂々と発表することができました。

改めて今回の研修の機会を与えてくれた **CONACYT** に感謝したいと思えました。



日墨戦略的グローバルシップ研修に広島県推薦枠ができたのは今年からですが、今後も引き続きこのプログラムが続き、広島とメキシコを繋ぐ人材が増えることを願っています。

もちろん私もその一人として将来活躍することができるように、帰国後もスペイン語の勉強を怠らず、またメキシコの文化や歴史の奥深さ、日墨間の強い繋がり存在を地元を広めていきたいと思っています。

オアハカ語学学校 ICO

CEPE が終わって、あとは行きたいところに行ったり好きなことをしたりできる…。休暇の計画を立てているときに、やりたいと思っていたことをふと思い出しました。メキシコ人の家庭でホームステイがしたい！今はメキシコ人の家の離れに住んでいますが、ホームステイとは言い難い。最初の家探しの際に感じたけれど、なかなかメキシコで良いホームステイ先を見つけるのは難しいものです。そこでインターネットで調べたところ、オアハカという町に語学学校があり、その学校が推薦できるホームステイ先を紹介してくれるとのこと。メキシコシティ以外の場所に住んでみるのも少しあこがれだったので思い切って申し込みをしました。

オアハカについて

オアハカはメキシコシティからバスで7時間ほど離れたところにある町で、メキシコの魅力を凝縮したような場所だと言われています。オアハカ州は先住民人口の比率が一番高い州で、伝統衣装や民芸品などを市場で購入することができます。実際に行ってみると近代的なセントロの町並みと、昔ながらの文化や風習を守るインディヘナの生活の両方がみられる素晴らしい町です。最近、「日本のサムライにはどこで会えるの？」と聞いてしまう外国人の気持ちがわかってきました（笑）



サントドミンゴ協会

ICO について



ICO とは INSTITUTO CULTURAL OAXACA の略称で、語学や文化が学べる外国人のための学校です。日本人スタッフが働いていてインターネットでその方のブログを見ることもできます。私はグループレッスンではなく、個人レッスンを頼んだのですが、とても親切な先生が丁寧に教えてくれました。サルサや民芸品を作るクラスもあるようでしたが、CEPE に比べると規模は小さめで、学校全体がのんびりと落ち着いた雰囲気でした。先述したようにホームステイ先も紹介してくれます。ホームステイ先の家族もとても優しく、毎朝一緒に朝食を食べながらおしゃべりしたのがとても印象に残っています。土曜日はホストマザーが中心街に連れて行ってくれたりして楽しい時間を過ごすことができました。

いつもとは違い、日本人の研修生たちから離れてふらりと一人でオアハカに向かいましたが、貴重な体験と親切な人との出会いでとても充実した時間を過ごすことができました。